

## H分科会「集まって住む」アンケートのまとめ

1. 全建女へのご参加は何回目ですか。(該当するものに をお願いします。)

・始めて【4名】 ・2回【1名】 ・3回以上【7名】 ・5回以上【13名】

2. フィールドワークの見学場所について。

### ・西陣・西陣織の歴史

- 感想
- ・華やかなイメージの西陣だが、どの地域も抱える時代の流れを感じた。
  - ・歴史の重みや昔の職人さんの息づかいが今でも感じとれた。
  - ・先人の志、美意識の高さに感動。
  - ・分業の町、店構えなどについて講師のお話が参考になる。
  - ・紋屋町の成り立ちを詳しく調べてみたい。
  - ・西陣の町の印象が変わった。もっと織物や着物が溢れている印象であった。
  - ・町の佇まいに魅力を感じて参加、期待通りであった。
  - ・独特の織りの歴史があるのは都市の歴史(都)からのものが大きく、需要が他の地域(地方)とは異なっていることが伝統工芸の技術発展に繋がったと思う。また、職の技としてではなく芸術としての技を伝承していることを痛感した。またその伝承・発展には職人さんらが「集まって住む」形態で成り立つものであったことに納得した。
  - ・着物が、いろいろな生活を戒めている言葉になっていることに驚き。
  - ・町屋の特徴や建設時期、西陣織りの作品や着物が見学出来、良い経験となる。
  - ・機織り機の音が聞けなくて残念。
  - ・講師の先生の説明が分かり易く、面白くて良かった。
- 質問
- ・新しい建物の規制や長屋(空家)プロジェクトに府、市からの助成金あるか。
  - ・実際に職人さんに逢える機会はあるか。
  - ・高齢の一人住まいなどが成り立つ地域か。
  - ・西陣の名前の由来。
  - ・若い人が着物を着用する事も多いのか。
  - ・町屋の改修は確認申請に特例などありますか。
  - ・職人不足はないのですか。また、育成はどうされているのですか。

### ・妙連寺

- 感想
- ・雪景色のなかの建物、庭の風情(御会式桜)や襖絵、調度品が素晴らしい。
  - ・ご本尊の綿帽子の由来を知る事が出来、日本人の心使いの細やかさに感動。
  - ・町中のお寺が身近ではないので京都を実感した。
  - ・玄関横の柱の新撰組の刀傷は歴史を肌で感じる事の出来る物証。
- 質問
- ・建立時期、お寺(重文)や入口右手の駕籠の由来など、時間が欲しかった。
  - ・宿坊として利用すると朝のお勤めがあるのでしょうか。

### ・浄福寺通り

- 感想
- ・町、街として違和感のない生活のようすを感じた。
  - ・石畳などの新しい景観が形造られており、守ると育てるのバランスが大切と感じた。
  - ・他の地域の人工的な町並み保存とは違い、落ち着きのある町並みであると感じた。

- ・写真は沢山撮ったもののじっくりと見られなかったことが残念。
- ・住民が古い物を残すだけでなく積極的に街づくりに参加しているのを感じた。
- ・石畳、街灯、家のライン、塀が美しい。この景観を造った人々に感謝。
- ・馴染みのない町並みを満喫、意外に新しいと感じた。
- ・思ったより交通量が多く、道幅とミスマッチな感じがした。
- ・新旧の対比や、石畳が素敵で歩いている事が楽しかった。
- ・新しい建物も多かったが、町づくりへの意識が町屋の雰囲気を残しているのでは。
- ・石畳が少々人工的。
- ・美しい部分とそうで無い部分があり面白い。
- ・江戸、明治、大正、昭和初期の建物の違いが良く理解出来た。

- 質問
- ・電柱埋設の費用負担はどこがしているのか。
  - ・街の人々のまとまりは何処からきたのか。
  - ・町づくり協議会で石畳化の次に検討している事はありますか。
  - ・塀に使われていた瓦は、どのような瓦を使っているのか。(再利用等)

#### ・織成館

- 感想
- ・小学校の廃材の再利用とのことだが、立派で力強いものだった。
  - ・廃材の再利用は素晴らしい。
  - ・廃材の再利用とすることでエコ建築であったが、室内の陰影など京都の町屋の特徴も伝承されており、また現在の住まい方も考慮されており素晴らしいと感じた。
  - ・時間が欲しかった。機織りの実演も見学したいと思った。
  - ・代々受け継がれているものを大切にされている姿が素晴らしい。
  - ・この地域のメインとして頑張りたい。
  - ・丁寧なご案内が良かった。京都の「おもてなし」を感じさせて頂いた。
  - ・何層も重なる建物と平面の複雑さが面白い。
  - ・ビューポイントとなっている。
  - ・新館と旧館のリノベーションが印象的。
  - ・伝統を感じさせる体感観光地。
  - ・浴室の見学は面白かった。
  - ・梁組のダイナミックさと階段や手すりの意匠が可愛らしく無駄のないデザイン。
  - ・外国人の設計と聞き驚いたが、建築には国境が無い事を改めて感じた。
  - ・外国人の設計者を受け入れる京都人を再認識。
- 質問
- ・米国の建築家とこの町の関わりを聞きたい。
  - ・織物体験の費用とどのような物をつくるのですか。

#### ・岩上神社・雨宝院

- 感想
- ・始めて鳥居のあるお寺を見た。
  - ・石の鳥居は始めてみた。
  - ・ただ通過するだけで終わってしまった。
  - ・鳥居のあるお寺であったが違和感がまったく無。

#### ・紋屋町三上家路地

- 感想
- ・長屋のようにすに感動。暖かい気持ちなれました。
  - ・路地を残しながらの新しい営みは参考になった。
  - ・TV、雑誌で見た事のある長屋でした。TVで見ると実際で見るのでは大違いで

- 覚悟をもって住まないと無理か。。。
- ・TVでしか見たことがない空間で新鮮であった。
- ・時を超えた雰囲気を感じる。
- ・新しい家と古い長屋の共存・混在が面白く、いい感じ。
- ・路地は歴史と生活の味がまじり、一番良かった。
- ・門の中に長屋がある構成は始めて見たので参考になった。
- ・若い人が住み働く場の提供は今後高齢者の努めですね。また税の優遇があっても良いのでは。
- ・昔ながらの共有スペースと現在の共有（車道）の対比が今を感じさせます。
- ・自分でも住んでみたい。
- ・町づくりは心、人づくり。心が通う人達の暮らしが町の雰囲気に現れている事で良く分かります。外から訪れる人達がいい町だな、ここで暮らしたいと思えるような町の雰囲気を醸し出す事が町づくりの基本。集まって住むの意味が良く分かった。
- ・アーティストや技術者が集まって住むようすに魅力を感じた。
- ・写真で見るよりも実際の空間の適度な狭さが心地よい。
- ・無駄のない感じに驚いた。
- ・大家さんと若い人たちのパワーとヤル気を感じた。
- ・顔や気配が感じられる狭さの路地、人づきあいの原点。
- ・長屋に小さいコミュニティがあり、助け合っている感じがした。

質問 ・耐震診断などはやっていますか。

- ・西陣にこのような路地はどのくらい残っているのか。また現在の状態は。
- ・住民同士の交流は昔の長屋のような感じか。また、その方法は。
- ・コミュニティの状況（大家、店子、店子同士）
- ・駐車場はどうしていますか。
- ・住人の感想が聞きたい。
- ・借り手の方はどのくらいの期間そこで活動される予定なのか。
- ・年間の維持費（建物のメンテナンス）はどの程度か。
- ・三上家の表札は大家さんのものですか。
- ・一緒にイベントをすることはありますか。

#### ・桜井公園

（時間が足りなくなり、見学出来ずに申し訳ありませんでした。）

### 3. フィールドワーク全体についての感想をご記入ください。

- ・長屋を多く見たかった。楽しい町歩きであったが、時間配分が難しかった。
- ・講師の方の説明やお話が分かり易く興味深かった。
- ・観光とは違う部分の見学に説明が加わり勉強になった。
- ・昼食も美味しく、建物も全て良かった。
- ・至れり尽くせりの企画、案内に京都士会に感謝。さすが全建女！
- ・説明をもう少し場所ごとにして欲しかった。準備、大変だったと察します。お疲れ様でした。
- ・個人では廻る事の出来ないところを見学させて頂き参考になりました。
- ・た車椅子を利用させて頂きましたが、対応頂いた京都、大阪の方々お世話になりました。
- ・建築士のスタッフに質問を致しましたが、余り答えて頂けず残念。

4. 昨日の『仮設住宅についての報告について』への質問があればご記入ください。

- ・災害に遭われた方々の避難時の装備は如何でしたか。
- ・胸の詰まる思いで報告を聞きました。絶対に風化させてはいけません。
- ・住む人の気持ちの分かる人が建てないといけない。費用の無駄使いになっているのでは。
- ・現状を知る良い機会となりました。秋田へ避難されて来ている人もいますが、大変な状況が長く続いていて可哀そうです。何も出来なくて申し訳ないと思う事もあります。
- ・仮設がどのくらいの期間入居するかについて、皆さんの考え方。
- ・今後の展開（1年後）
- ・行政の対応状況報告は参考になった。
- ・建築士を活用しきっていないのでは、今後、建築士活動で良かった事例を知りたい。
- ・行政と住まい手の温度差を感じます。
- ・断熱材を始めとする問題点など、住む人達への対応がもっと充実する必要がある。
- ・予算と実際の費用の差額は何処からくるのか。
- ・福島、宮城、岩手の方の報告にもう少し時間をかけて欲しかった。
- ・3県の報告が聞いて良かった。震災についてももう少し深く取り上げて良かったのでは。
- ・なぜ同じ場所に違うタイプの仮設住宅が混在するのでしょうか。
- ・各県の取り組みが良く分かりました。やはり木材を使った物が居心地が良いと分かりました。

5. 貴士会における『集まって住む』についての活動や情報があればご記入ください。

- ・シェアハウスを計画中。
- ・以前、高齢者が「集まって住む」というテーマで考えてことがありました。
- ・集住分会が欲しい位。重要なテーマですね。
- ・中心市街地の空洞化対策のシステムづくりの活動をやっている。「ランドバンク研究会」
- ・シェアードハウス（若者～高齢者）に興味があります。
- ・1つの建物に集まって住むのではなく、地域で集まって住むことを考えています。
- ・富山県の岩瀬町の町並み保存の町でも井波の彫刻家、ガラス作家さんなどを呼んで住んで貰っています。仕掛け人は酒蔵の社長さんです。

6. 今後『集まって住む』分科会で取り上げて欲しいテーマがあればご記入ください。

- ・シェアハウスの成功と失敗
- ・他の地域での事例があれば、継続して取り上げて欲しい。
- ・セミナーで社会状況（少子化）と集まって住む的な例があった。（住宅をペンションに）そんな事例を集めてみたい。
- ・出来あがった集住例の運営、メンテナンスについて勉強したい。
- ・横浜、寿町など、外国人が集まって住むところを取り上げて良いのでは。
- ・「集まる人々」「受け入れる人々」それぞれの覚悟について
- ・かんかん森のその後、また教えて下さい。
- ・町屋と共生している新しいコミュニティコーポラティブハウスの事例、図面、現場見学等